

令和6年度12月「学校評価アンケート」の分析「公表資料」

12月に実施した「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。本校が掲げている4つの「めざす生徒像」を実現させるための、具体的な取組についての結果と分析をお知らせいたします。

学校教育目標「豊かな心と向上心にあふれる生徒の育成」の達成に向けて

「めざす生徒像」づくり

【1. 自ら進んで学習する生徒】

- ・授業の学び合いを通して自分の考えを持とうとする生徒

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

- ・互いの良いところを見つけ伝え合うことのできる生徒

【3. 心と体を鍛える生徒】

- ・自律清掃で、自分の心を磨いている生徒

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

- ・地域に誇りを持つ生徒



【1. 自ら進んで学習する生徒】

(質問6)「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる。」

「よくあてはまる」25%, 「あてはまる」68% 合計93% (生徒)

(質問7)「授業で友達と学び合うことができている。」

「よくあてはまる」60%, 「あてはまる」38% 合計98% (生徒)

「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる」については7月の91%より2%増加しました。また、「授業で友達と学び合うことができている」においては7月の98%と変わらない結果となりました。今後は「わかるようになりたい」「できるようになりたい」という気持ちを引き出すとともに、子ども同士をつないでよりよい学びができるようにするよう、教師は「子ども主体の学びを支援する伴奏者」であることを意識して授業に取り組んでいきたいと思います。

(質問8)「学んだことをふり返ったり、次の授業を見通した勉強を家で勉強している。」

「よくあてはまる」11%, 「あてはまる」58% 合計69% (生徒)

家庭学習については、7月の78%と比較すると2%の減少となりました。学んだことをふり返ったり、次の授業を見通した勉強を自分で行なうことが、様々な課題解決に必要な力であり、学びに向かう人間力につながるものと考えられます。後期のは生徒会企画で「学習 Run Run」と銘打った家庭学習調査を行い、各学年の家庭学習の平均時間を掲示したり、呼びかけたりしました。このような家庭学習への意識づけを生徒自身で取り組んだことは良いことであり、今後も機会を捉えて行えればお考えます。

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

(質問11) 「友達の良い行いや長所を見つけることができる」

「よくあてはまる」 38%, 「あてはまる」 58% 合計96% (生徒)

(質問12) 「友達に対して、思いやりの心で行動している」

「よくあてはまる」 26%, 「あてはまる」 68% 合計94% (生徒), 92% (保護者)

「友達の良い行いや長所を見つけることができる」については7月より2%減少しました。同様に「友達に対して、思いやりの心で行動している」についても2%減少した結果となりました。生徒同士が良いところを見つけて名前やその行為を書く「とりごえもんの羽」が定着してきているので、今後は自尊感情を育むとともに他者への思いやりが自然と生まれるような場面を設けていく取組をしていきます。

【3. 心と体を鍛える生徒】

(質問15) 「どこでも誰に対しても自分からあいさつしている。」

「よくあてはまる」 43%, 「あてはまる」 57% 合計100% (生徒)

「どこでも誰に対しても自分からあいさつしている。」については7月の95%から5%増加しています。生徒会での挨拶運動であったり、バス通学での乗車マナーであったりと挨拶を意識して生活ができていたと思われます。今後もさわやかな挨拶が飛び交う活気ある学校になるよう、良い行いについては価値付けをしていきたいと思います。

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

(質問16) 「地域に关心を持ち、その良さを理解している。」

「よくあてはまる」 28%, 「あてはまる」 55% 合計83% (生徒)

(質問17) 「地域に貢献したいと考えている。」

「よくあてはまる」 23%, 「あてはまる」 55% 合計65% (保護者)

「地域に关心を持ち、その良さを理解している」については7月の87%から4%減少しています。「地域に貢献したいと考えている」についても7月の85%から7%減少した結果となりました。ジオパーク学習を通して地域の良さを実感できたと思われます。今後も総合的な学習の時間において地域の良さや課題について考える取組を行っていきたい。また、地域人材を積極的に活用し、地域の良さや地域への貢献についてお話をしていただく機会を設けていきたい。

※1月28日に学校運営協議会を開催し、前期と同様に本校が取り組んでいることに対する激励や広い視野から長期的な視点でのアドバイスをいただきたりすることができました。委員会に参加された方々のご意見を参考に学校教育目標の実現に向けた教育実践を図れるよう努めていきたいと思います。